

私たちのルーツをたどる旅。



変わりゆく大地。変わらない原風景。

ジオとは大地のこと。大地の成り立ちとそこで育まれた自然や生態系、人々の暮らしを丸ごと感じる事ができる「大地の公園」がジオパークです。

西予市には、日本列島誕生期の貴重な地質や海・里・山における昔ながらの人々の営みの記憶が残ります。

私たちが住む日本列島は、どのようにつくられたのだろうか？ 私たち日本人の祖先は、どのような暮らしをしていたのだろうか？ そんな疑問に答えられます。

西予市内のジオポイントをめぐれば、日本のことを、地球のことを、そして自分自身のルーツを強く意識できるはず。



私たちのルーツをたどる旅
～古大陸の軌跡と、海・里・山の原風景を楽しむ～



各都市からのアクセス	所要時間
札幌	飛行機で約2時間10分(※直行便:4月-10月) 飛行機で約3時間30分(※羽田空港経由)
東京	飛行機で約1時間20分
名古屋	飛行機で約1時間
大阪	飛行機で約50分/JRで約4時間
岡山	JRで約3時間(※車約3時間)
広島	高速船で約1時間10分/車で約2時間50分
高松	JRで約2時間30分/車で約2時間
徳島	車で約2時間30分
高知	車で約2時間
福岡	車で約6時間
大分	車で約2時間15分(日待泊あり) 車で約2時間50分(日待泊あり)

西予市内のアクセス	所要時間
三瓶地区	車で約40分
野村地区	車で約25分
城川地区	車で約20分
宇和地区	車で約40分

四国西予ジオパーク推進協議会 (事務局:西予市工務観光課ジオパーク推進課)
 〒797-8501 愛媛県西予市宇和町三丁目43番地1
 TEL:0894(62)6408 FAX:0894(62)6542 http://www.seiyō400.jp/geopark/



北部宇和海エリア

太陽の光が海面へと降り注ぐアス式海岸が美しいこのエリアは、良好な漁港や養殖場、日本有数の柑橘の生産地です。先人が築いた天にも届く石積みは、大地と人との共生を感じる美しい段々畑となっています。

ジオクルーズ (MAP 3-C)
 屋根船やクルーザーで、美しい三瓶湾を巡ることが出来ます。一番の見所である須崎海岸では、黒瀬川構造帯の地層を海から眺めることができます。
 ☎0894(62)6437 ※西予市観光協会



上流宇和海エリア

野村シルク博物館 (MAP 3-F)
 明治初期に始まった野村地区の養蚕。黒瀬川の清流と高い技術による生糸は「野村生糸カメラ」(樽)として高い評価を得ました。館内では機織りや染色体験もできます。
 ☎0894(72)3710

茅葺民家交流館「土居家」 (MAP 1-I)
 文政10年(1827年)に建築された旧庄屋敷で、四国最大級の規模と歴史を誇る茅葺き木造民家。建物の基礎や庭園にはこの地域で産する玄武岩などを使用しています。
 ☎0894(76)0636



黒瀬川エリア

4億5,000万年前から現在に至るまでの多様な岩石や化石が見つかる地域。奥伊予の伝統・文化も数多く保存され、ジオと人々の暮らしの関わりを楽しむことができます。

西予市立城川地質館 (MAP 3-I)
 黒瀬川構造帯を中心に西予市の地質に関する資料や化石を展示。映像やイラストを通して、地球科学の基礎知識や大地の成り立ちについても楽しく学ぶことができます。
 ☎0894(83)1100



四国カルストエリア

日本三大カルストのひとつ、四国カルストに位置する大野ヶ原は四国でも有数の酪農地帯。石灰岩の白と牧草の緑との間でんびりと草を食む牛たちを見ているだけでも心が癒されます。

茅葺民家交流館「土居家」 (MAP 1-I)
 文政10年(1827年)に建築された旧庄屋敷で、四国最大級の規模と歴史を誇る茅葺き木造民家。建物の基礎や庭園にはこの地域で産する玄武岩などを使用しています。
 ☎0894(76)0636

ジオ満喫 オススメコース

ルート:北部宇和海エリア (総所要時間 110分)

種やかな陽射しに包まれながら、宇和海の絶景満喫コース

- 野福峠やささぎが丘から、深く入り込んだアス式海岸の地層を眺めることができます。野福のたんぼでは、爽やかな柑橘の香りと種やかな太陽の陽射しを楽しみながら散策できます。
- 大野ヶ原の段々畑
- 須崎海岸
- 宇和地区
- 三瓶地区
- 野村地区
- 城川地区
- 宇和地区

ルート:黒瀬川上流エリア (総所要時間 35分)

ジオの恵みを活かした人々の暮らしと歴史を辿るコース

- 宇和盆地では堆積岩の一種であるチートを利用した石積みや河川、民家を眺めることができます。宇和盆地の稲作風景や野村地区の養蚕など人々の足跡を辿ることができます。
- 野村シルク博物館
- 野村地区
- 野村地区
- 野村地区
- 野村地区
- 野村地区
- 野村地区

ルート:黒瀬川エリア (総所要時間 45分)

奥伊予の原風景と大地の神秘を感じるコース

- 稲田100選に選ばれている田舎の稲田。近くには茶畑もあり、心豊かな奥伊予の時間を過ごすことができます。また貴重な化石の数々は、運動し続ける大地を再認識させてくれます。
- 田舎の稲田
- 茶畑
- 化石
- 化石
- 化石
- 化石
- 化石

ルート:四国カルストエリア (総所要時間 70分)

天空へつながる大地で、思いっきり深呼吸コース

- 河川の働きによってできた宇谷と河成段丘の景色は圧巻。さらに標高が高い源氏ノ驛やブナの原生林では、高原の爽やかな風が吹き抜け、木々の緑に癒されます。
- 宇谷
- 河成段丘
- 源氏ノ驛
- ブナの原生林
- 原生林
- 原生林
- 原生林

黒瀬川構造帯の謎

全ては、ここから始まったのかもしれない。

日本列島の地質は約2億5,000万年前から始まる中世代より新しい地質がほとんどですが、城川地区を流れる黒瀬川流域の地質からは約4億年以上前のサンゴ類や三葉虫の化石が発見されています。この本格的な調査が、日本で初めてのこの地域で行われたため、「黒瀬川構造帯」と名づけられました。

■約4億年前の Gondwana 大陸

その成り立ちには諸説ありますが、かつて南半球には、現在のインド大陸やオーストラリア大陸などがひとつの塊になった「Gondwana 大陸」が存在していました。黒瀬川構造帯もその一部で約1億5,000万年前にアジア大陸の東の端に移動してきたと考えられています。



■黒瀬川構造帯で見つかった、ハチノスサンゴ

約4億2,500万年前に暖かい海でつくられたとされるその化石は、オーストラリアや南中国のものと同種が多いことから、黒瀬川構造帯が Gondwana 大陸の一部であったという裏付けの一つとなっています。

■総延長1,000kmにも及ぶ黒瀬川帯

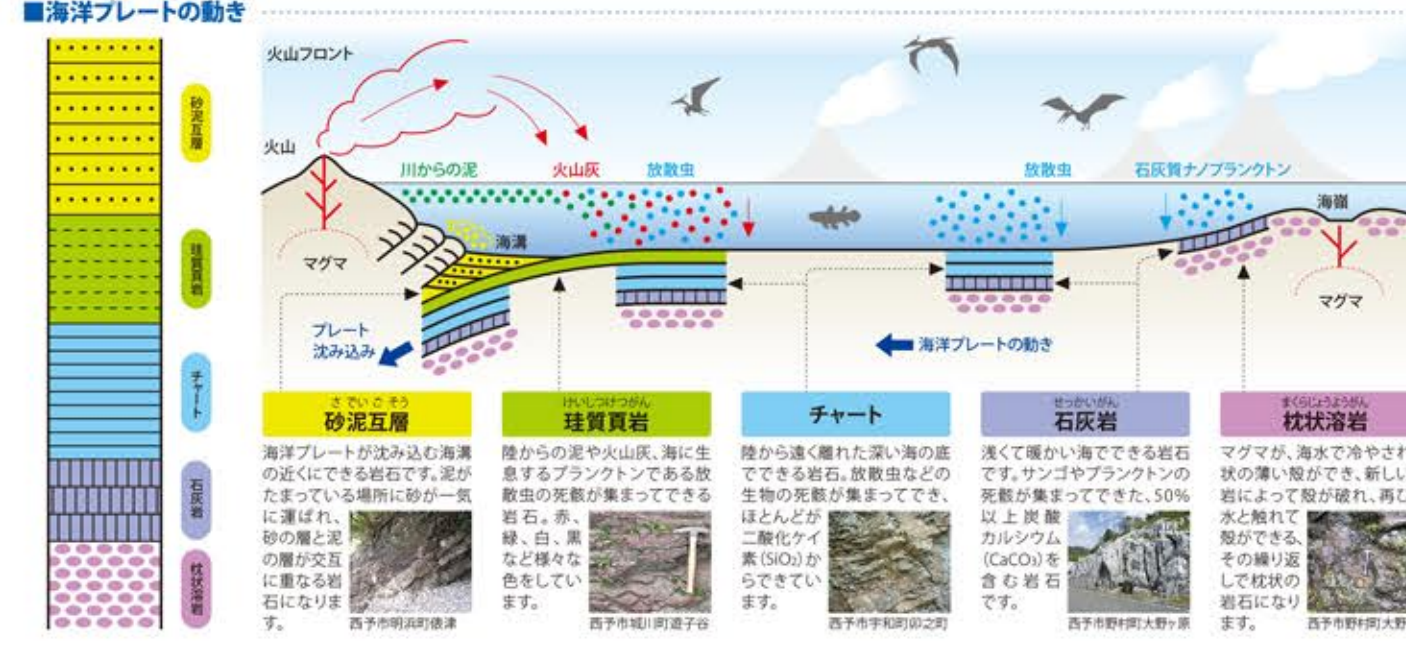
黒瀬川構造帯とそれに関連する地層(黒瀬川帯)は数kmの短い幅で、西は九州から東は関東まで続き、総延長は約1,000kmにも及びます。もともと1つのかたまりだった大陸が大規模な地殻変動によって現在のよう細長い構造帯を形成したと考えられています。



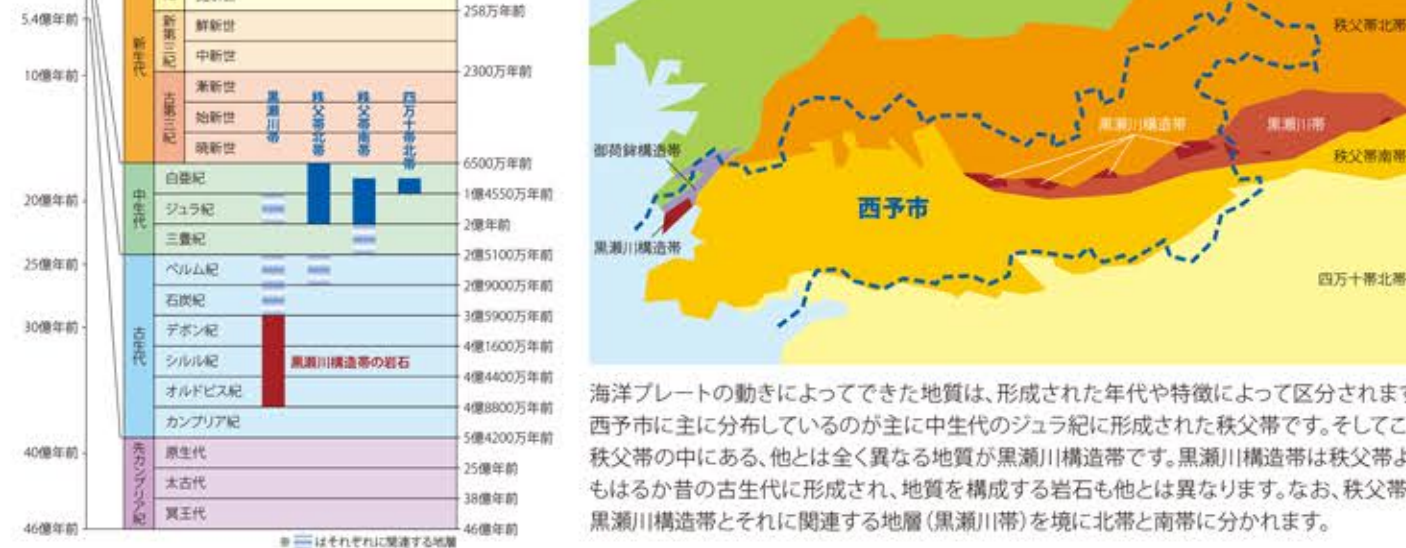
移動する海洋プレートと西予の地質

西予市はその昔、海の底だった。

例えば西予市で最も高い標高1,400mにある野村地区大野ヶ原の四国カルスト。緑のじゅうたんが広がる景色のなかに点在する白い石灰岩は、暖かいサンゴの海から運ばれてきた地層です。西予市に限らず日本列島の多くの大地は、海洋プレートが移動し沈み込む際に陸側に押し上げられ、つくられたと考えられています。特に西予市では多様な地層を観察することができ、過去の海洋プレートの情報を知ることができます。



■西予市の大地の成り立ち



西予市の地形と気候風土



■南国が一面の雪化粧に

南国四国でありながら西予市の山間部はしばしば銀世界に覆れます。こうした気候を演出しているのが四国カルストをはじめとした四国山地です。冬、大陸で発達するシベリア高気圧。そこからの北西の季節風が中国地方と九州地方の間の関門海峡を抜け四国山地にぶつかり、南予地方の山間部ではしばしば雪が降ります。

■朝霧による幻想的な光景

黒瀬川上流の野村盆地や宇和盆地では秋から冬にかけての良く晴れた朝、幻想的な朝霧に覆れることがよくあります。寒暖の差が大きい盆地では、夜間に地表付近の空気が冷やされて飽和し、霧が発生します。山に囲まれた盆地は風が弱いため、朝まで霧が残ることが多く、さらに中心部を流れる黒瀬川からも多くの水蒸気が供給され、霧の発生を後押しします。

■おいしい柑橘を育む3つの光

宇和海に面する明浜地区や三瓶地区の段々畑で育まれる柑橘類。そのおいしさを育むのが3つの光です。1つ目は爽やかな太陽の光。2つ目は段々畑の石垣からの照り返しの光。3つ目は目の前広がる海からの照り返しの光。こうして様々な方向からの太陽の光と、海からの潮風によってコクと酸味のバランスがとれたおいしい柑橘に育ちます。

標高差1,400mの原風景とその恵み

海抜0mから標高1,400mまで多彩な自然に恵まれた西予市。そこには昔ながらの手づかしの風景と、その自然の恵みに感謝し、心豊かに暮らす人々の姿があります。

自然(ジオ)の恵み

- 大野ヶ原大根** 冷涼な気候と赤土の上に美味い土層が、白く美味しい大根を育てます。
- シイタケ** 豊かな自然環境とクヌギの原木で育てられたシイタケは、風味、食感、味ともに格別です。
- 奥伊予栗** 粟畑に適した奥伊予地域で育まれた和栗は、色・味・風味ともに優れています。
- 乳製品とスイーツ** 地元産搾りたての牛乳を使用したアイスクリュームやチーズはどれも新鮮で絶品です。

原風景と文化

- 大野ヶ原 (四国カルスト) (MAP 1-K)** 四国有数の放牧地帯で、大野ヶ原の人口の9割にあたる約800頭の牛が飼育されています。
- ヤマアジサイ (四国山) (MAP 2-J)** 四国山には水色やピンク、紫色のヤマアジサイが群生しており、7月頃に見頃を迎えます。
- 茶室とお接待** 旅人に飲食をふるまうことで自分もが徳を積み重ねる茶室。お接待文化が根付きます。
- 明石寺とお道路 (MAP 3-D)** 四国霊場八十八ヶ所43番札所の明石寺には、年間を通じて白装束のお道路さんが賑わいます。

宇和米 米どころとして知られる宇和盆地では盛んに米作りが行われ、古代米も生産されています。

コウノトリ 秋から冬にかけて宇和盆地に飛来します。西予市では餌の確保など保護に努めています。

しし肉 捕獲された猪を「里の暴れん坊」で商標登録し、精肉や加工品として販売しています。

ブドウ 山間部の気候が美味しくブドウを育てます。初夏になると、田舎が染まった喜びを神に感謝し祈る、田んぼ行事です。

みかん 南向きの急傾斜地を利用して育てられたみかんは、糖度が高くジューシーな味わいです。

海の幸 天然のアジをはじめ、ハマチやシラメ、タイなどの養殖、ちりめん産地として有名です。

野村乙亥大根撰 (MAP 3-G) 江戸時代に発生した大火災を機に行った火災祈願相模が、160年の歴史があります。

育宮の瀬戸焼 (MAP 4-C) 木を高く積み上げて火が火を焚き、薪になった若者が冷たい海で身を清める勇壮な儀式です。



- 1 須崎海岸 (MAP 3-B) 北部宇和海エリア (三瓶湾ジオサイト)
- 2 さざえが岳からの眺め (MAP 3-C) 北部宇和海エリア (三瓶湾ジオサイト)
- 3 山田薬師の大岩 (MAP 3-C) 肱川上流エリア (宇和盆地ジオサイト)
- 4 笠置峠古墳と宇和盆地 (MAP 3-C) 肱川上流エリア (宇和盆地ジオサイト)
- 5 観音瀧 (MAP 3-D) 肱川上流エリア (宇和盆地ジオサイト)
- 6 大和田橋付近の黒瀬川構造帯 (MAP 3-G) 肱川上流エリア (河成段丘ジオサイト)
- 7 V字谷と河成段丘 (MAP 2-H) 四国カルストエリア (舟戸川ジオサイト)
- 8 小振の大クスノキ (MAP 2-H) 四国カルストエリア (舟戸川ジオサイト)
- 9 羅漢穴 (MAP 1-J) 四国カルストエリア (大野ヶ原ジオサイト)
- 10 ブナの原生林 (MAP 1-K) 四国カルストエリア (大野ヶ原ジオサイト)
- 11 基石ヶ森北側の枕状溶岩 (MAP 1-K) 四国カルストエリア (大野ヶ原ジオサイト)
- 12 四国カルスト 源氏ヶ駄場 (MAP 1-K) 四国カルストエリア (大野ヶ原ジオサイト)

ジオが教えてくれる、私たちのルーツ。

あなたが立っている場所は、かつては南半球に存在していたかもしれない。あなたが遠くに眺めている山は、その昔、海の底だったかもしれない。あなたが歩いた町並みを、数百年前の人々が同じように歩いたかもしれない。そんな想像をしてみると、旅はもっと楽しくなるはず。あなたは目の前のジオから、どんなメッセージを感じますか？

4つのジオエリアの紹介

四国西予ジオパーク構想は、西から北部宇和海エリア、肱川上流エリア、黒瀬川エリア、四国カルストエリアの4つのジオエリアに分かれ、それぞれのエリアに多彩なジオサイトやジオポイントが点在します。

- 13 大早津の石灰岩 (MAP 4-C) 北部宇和海エリア (明浜西ジオサイト)
- 14 狩浜の段々畑 (MAP 4-C) 北部宇和海エリア (明浜東ジオサイト)
- 15 法華津峠 (MAP 4-E) 肱川上流エリア (法華津峠ジオサイト)
- 16 高森山 (MAP 4-E) 肱川上流エリア (法華津峠ジオサイト)
- 17 観音水 (MAP 4-F) 肱川上流エリア (観音水ジオサイト)
- 18 桂川渓谷 (MAP 4-G) 肱川上流エリア (野村ジオサイト)
- 19 田穂の石灰岩 (MAP 3-G) 黒瀬川エリア (奥伊予ジオサイト)
- 20 下相のジュラ紀化石産地 (MAP 3-I) 黒瀬川エリア (奥伊予ジオサイト)
- 21 中津川のトッフア (MAP 3-I) 黒瀬川エリア (奥伊予ジオサイト)
- 22 岩上田 (MAP 3-I) 黒瀬川エリア (三滝山ジオサイト)
- 23 三滝渓谷 (MAP 3-I) 黒瀬川エリア (三滝山ジオサイト)
- 24 六神鍾乳洞 (MAP 3-J) 黒瀬川エリア (奥伊予ジオサイト)

